

- 8月2日、燃料交換機を撤去したことにより、3号機のガレキ撤去作業は大きく進展し、今後の燃料取り出しおよび廃炉に向けての大きな一歩となった。
- 8月4日、3号機使用済燃料プール内で水中カメラによるガレキ堆積状態の調査を実施した。

<調査結果>

- 本日午前9時5分頃、水中カメラにて使用済燃料プール内のガレキ状況を確認していたところ8月2日に撤去した燃料交換機本体の下に位置する燃料集合体4体において、ハンドル部が変形していることを確認しました。
- なお、8月3日に採取した使用済燃料プール内の水の放射能濃度については、従来と比較して有意な変動はなく、また、燃料交換機撤去作業の前後においてモニタリングポスト指示値にも有意な変動はないことから、今回の燃料交換機撤去作業による新たな燃料破損の兆候はなく、周辺環境への影響もありません。
- 今後、燃料取り出しの検討過程において、ハンドル部の変形した燃料集合体の取り扱いについても検討してまいります。

調査箇所・水中カメラの映像

